

兵庫県  
保険医協会



明石支部  
二ユース

No. 339  
2026・4・15  
投稿歓迎!

兵庫県保険医協会 明石支部

支部長 吉岡 巖

神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号  
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 078-393-1801  
FAX 078-393-1802

明石支部他科を知る研究会

(2月11日開催)

『知ってほしい  
脳神経内科のこころ』

明石支部は2月11日に明石支部他科を知る研究会を開催し医師、歯科医師薬剤師10人が参加した。参加者の感想を紹介する。




このたびの講演会は、明石市魚住でご開業の戸田内科・脳神経内科の戸田和夫先生が「知ってほしい脳神経内科のこと」の演題で講演されました。脳神経内科の担当領域である、脳・脊髄・末梢神経・筋肉について、非常に詳しく説明していただきました。

明石支部は2月11日に明石支部他科を知る研究会を開催し医師、歯科医師薬剤師10人が参加した。参加者の感想を紹介する。

このたびの講演会は、明石市魚住でご開業の戸田内科・脳神経内科の戸田和夫先生が「知ってほしい脳神経内科のこと」の演題で講演されました。脳神経内科の担当領域である、脳・脊髄・末梢神経・筋肉について、非常に詳しく説明していただきました。

抗パーキンソン病薬による長期服用の問題点として、ウェアリングオフ現象 (Wearing-off現象)、オンオフ現象 (on-off現象)、ジスキネジア (不随意運動) が出現する場合があります。パーキンソン病の重症度分類 (Hoehn-Yahr) でその症状を判定した上で、可能な限り早く治療が必要です。

パーキンソン病の四大症状

 <p><b>振戦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何もしない時に震える「静止時振戦」が見られる</li> <li>・親指と他の指をすりあわせ、丸薬を丸めるような動きのピルローリングを示す</li> <li>・手だけでなく足やあごにもあらわれてくることもある</li> </ul>	 <p><b>固直</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉の緊張が強くなり、手足の動きがぎこちなくなる</li> <li>・他動的に屈伸した時に抵抗がみられる (鉛管様、歯車様)</li> <li>・関節を十分に伸ばすことができない</li> </ul>
 <p><b>運動遅延</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動作の開始に時間がかり、動作そのものも遅くなる</li> <li>・まばたきが減り、顔の表情が固くなる</li> <li>・字が小さくなる (小字症)</li> </ul>	 <p><b>姿勢反射障害</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体のバランスが悪くなる</li> <li>・前かがみの姿勢をとる (前屈姿勢)</li> <li>・歩き始めの一步が出にくく、いったん歩き出すと駆け出すように足早となる (突進現象)</li> </ul>

認知症・ALSのほかパーキンソン病について詳細に解説頂きました。四大症状である、振戦・固直・無動・姿勢反射障害が有り、パーキンソン病の治療をしていても症状を改善することはできないが進行自体を遅らせることができるかについては、よくわかっていない面が残っています。

特筆すべきは、明石市のパーキンソン病の発症率です。全国平均が10万人中100人あまりのところ、明石市は638人と多く、なぜなのか原因が不明とのことでした。(明石市・吉本歯科医院 吉本 秀雄)

ヤールの重症度分類 (Hoehn-Yahr)

I(1)度	症状が片方の手足のみ
II(2)度	症状が両方の手足にみられる
III(3)度	姿勢反射や歩行の障害(小刻みな歩行、ゆっくりとした動作)が加わる
IV(4)度	起立、歩行は可能だが非常に不安定、介助が必要となる
V(5)度	車椅子使用か、ほとんど寝たきり



打腱器を用いた腱反射を参加者全員が体験した。左が講師の戸田和夫先生

戸田和夫先生のご講演は、私たちが薬剤師では普段経験できないことを実践や動画で体験でき、症例の実際と診察での医師の視線を直接お話しただけの貴重な機会をいただきました。

ご講演を楽しみにしております。ありがとうございます。(垂水区・なつめ薬局薬剤師 水川 麻起子)

パーキンソン病や認知症は、完治の見えない病であることで処方箋を受ける私たち薬剤師も、患者さんのふとした不安や今後どうなるのか、できることがないか、という質問に対して答えに詰まることも少なくないです。

このたび戸田和夫先生の講演をお聴きして、脳の構造や病態の動きを交えた解説により、症状や薬の効果を視覚的にも理解することができました。

こうして先生方の講義を直接伺い、たくさんのヒントを持ち帰ることができたので、早速日々に役立てたいです。先生方と患者さんの信頼関係を後押しできるような存在でいられるよう努力したいと日々感じておりますので、またの

今回学んだ知識を活かし、薬局での聞き取りの際にも患者さんの変化や訴えを捉えられるよう努めたいです。貴重な機会をありがとうございました。(垂水区・なつめ薬局薬剤師 古井 裕子)

日々感じておりますので、またの

今回学んだ知識を活かし、薬局での聞き取りの際にも患者さんの変化や訴えを捉えられるよう努めたいです。貴重な機会をありがとうございました。(垂水区・なつめ薬局薬剤師 古井 裕子)

### STOP! 患者負担増 「ロキソニンやアレグラなどの薬の追加負担はやめてください」 請願署名へご協力を

政府は77成分・約1100品目の薬について、患者さんの1~3割の窓口負担とは別に「特別料金(薬剤費の25%)」の追加負担をさせることを決めました。対象となる薬剤は、痛み止めや、花粉症治療薬、皮膚疾患の保湿剤など日常的に幅広い疾患で使われている薬です。医師・歯科医師が医学的見地から必要と処方した薬剤に対し、市販薬との公平性を名目にペナルティーを科すことは、専門的な医療行為への介入に他なりません。患者にとっては、窓口負担が実質的に3割から5割へと跳ね上がり、「受診抑制」に直結します。また維新は「現役世代の保険料負担の軽減」を打ち出していますが、一人当たりの「軽減額」は月63円に過ぎず、一方で花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患に苦しむ患者など、すべての世代に負担増となります。

保団連・協会はこの追加負担の中止を求めて、全国で請願署名に取り組んでいます。ぜひご協力をお願い致します。患者さんにも広く伝えてください。署名用紙のご注文・お問い合わせは、電話078-393-1807まで。

オンライン署名も実施中!  
下記よりすぐにご賛同いただけます!!



保険料も窓口負担(1~3割)も払っているのに

## いつもの薬に +25%の追加料金!

薬代の患者負担は 1.66倍 5割に

一方、医療費の削減額は約900億円、一人当たり換算すると月63円の軽減にすぎない。

約1100品目が負担増の対象に

- 消炎鎮痛(痛み止め)
  - ロキソニン
- 抗アレルギー薬
  - アレグラ
  - フェキソフェナジン
- 保湿剤
  - ヒルドイド
  - ソフト軟膏/ローション
- 下剤(便秘)・制酸薬
  - マグネシウム
- 去痰薬(痰切り)
  - カルボシステイン
- ステロイド剤
  - リンデロンV軟膏

私たちのよく使う薬の負担を増やして保険料軽減!?

国の負担割合を増やす  
大企業の内部留保を働く人に還元し資金UP  
大企業の利益に匹分の税負担

もっと詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください

全国保険医団体連合会 TEL:03-3295-5101 FAX:03-3295-1802

兵庫県保険医協会明石支部 職員接遇研修会のご案内

# 接遇力アップ! 笑顔と心遣いのコミュニケーション ~クレーム対応のポイント



医療機関では、患者さんが安心して頼ることのできる職員とのコミュニケーションが求められており、接遇の質の向上が、医療への信頼と医院の印象を一層高めることにつながります。明石支部では、新人スタッフだけでなく、ベテランの方も含めた職員教育の一環として接遇研修会を毎年開催し、好評をいただいています。

今回は、看護師として病院、外来、訪問看護の現場を経て教育分野へ。現在、大学で看護教育に携わっている准教授 松田優子先生に講師をお願いしました。愛知県を中心に全国で医療機関や介護施設で接遇研修等の講師をされています。医療現場における、患者さんへの心遣いやスタッフ相互のコミュニケーション技術、また、患者さんからのクレーム対応のポイントなどをわかりやすくお話いただけます。ぜひご参加ください。

なお、医療法で年2回の研修実施が求められている、医療安全管理研修会の一環として、受講者には受講証を発行させていただきます。

日時 5月9日(土) 午後2時~4時  
 会場 アスピア明石北館7階704 (JR・山陽電鉄「明石駅」から徒歩3分)  
 講師 松田 優子先生  
 (名古屋英大大学健康科学部看護学科地域・在宅看護学 准教授、看護師)  
 参加費 お1人1000円(当日現金でお支払い下さい。領収書・医療安全管理研修会受講証発行)  
 定員 80人 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

※お問い合わせは、078-393-1809 明石支部担当事務局 本田まで

明石支部職員接遇研修会(5月9日)申込書 (FAX:078-393-1820)までご返信ください)

市 区町 医療機関名 [ \_\_\_\_\_ ]

TEL [ \_\_\_\_\_ ] FAX [ \_\_\_\_\_ ]

参加者氏名	職種	経験年数
		年 月
		年 月

(日頃、電話対応やクレームなど接遇で困っていることや教わりたいことなどあればご記入下さい)